

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 4 月 16 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

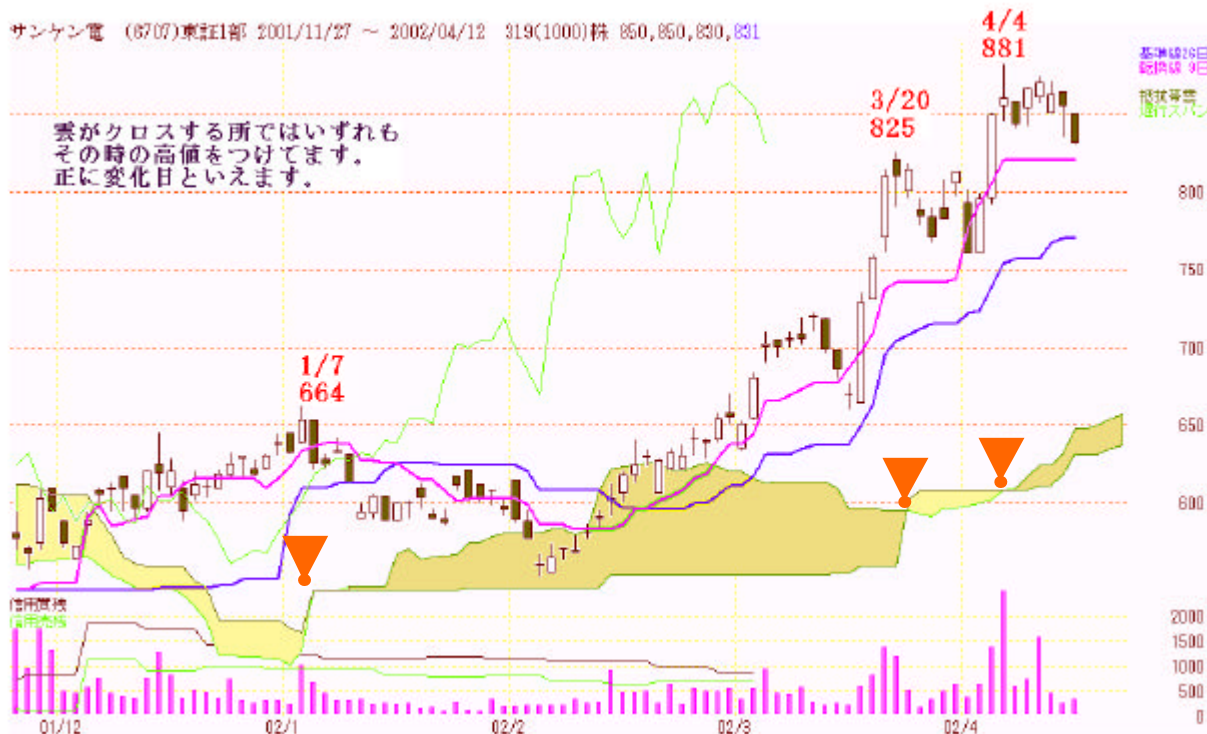
一通り計算値の出し方についてご説明しました。前回までのレポートをよくご覧になって、ご自分でも研究してみてください。

さて、今日からは**変化日の出し方**についてご説明します。例えばN計算値の 円がいつ出るか！ この、いつというのが一番大切なことです。いつまで上がる！ いつまで下がる！ これを変化日として前もって知ろうというわけです。最初の今日は、**一目均衡表の変化日**についてご説明します。(6707)サンケン電機のチャートをご覧下さい。一目均衡表の雲(先行スパン)が交わる所が数ヶ所あります。ここが変化日なのです。要するに、一目均衡表の雲の上限と下限がクロスする所が変化日です。厳密に申しますと、クロスしなくても雲の上限と下限の差が、ほとんどなく接近した所は変化日とみていいようです。

一目山人さんがお書きになられた「一目均衡表」の原著を読みますと、「二つのスパンに大差がなくなった時こそ、かなり大事な変化をはらんでいる」といった内容のことが書かれています。

一目均衡表の雲がクロスする所、または大差なく接近する所が**変化日**だと覚えておいてください。

(無料テレフォンサービス)やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552)



このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。